



全国の医師から「NO!」の声が続々

子どもへのコロナワクチン接種は本当に安全ですか?

安全なの? お子様へのワクチンが本当に必要なの?

5-11歳のお子さまを持つ保護者の皆さま

子どもへのコロナワクチン 本当に安全ですか?

あなたの大切な子どもを守るために必ず知ってほしいことがあります

北海道有志医師の会

コロナワクチンの子供への接種が始まった。大人でも重篤な副作用が起こるワクチンにはかたがたより懸念があったが、ここへきて全国の医師有志から反対する声が続々と聞かれる。背景には何があるのか、レポートする。

是非論争

子どもへのコロナワクチン接種

子どもへのコロナワクチン、安全だとおもいますか?

新型コロナウィルス対策の抜本的変更と

子どもへの(5才-11才)コロナワクチン接種の即時中止を求めます

東北有志医師の会

接種ありきの厚労省の傲慢。子供一律接種は日本だけ!?

2月26日、5〜11歳の子供へのコロナワクチン接種が東京都足立区で始まり、今後、全国の自治体で本格的に実施される。

だが、小児は感染しても重症化することは極めて稀で、コロナ禍となって以降、10代未満のコロナによる死者はいまだにゼロだ。一方、ワクチン接種後の死亡事例は1474人に達し、このなかには10代の死者4人も含まれる(2月18日現在)。厚労省は因果関係を認めず、コロナワクチンの中長期的な安全性は、十分に確認されていないのも事実だ。

そんなワクチンを子供に接種する必要があるのか? 危険ではないのか? そんな懸念を抱く声が、全国の医療従事者から相次いでいる。子供への接種が始まる3月を前に、北海道有志医師の会、関西有志医師の会などの団体が、次々と接種に反対を表明したのだ。2月16日には、ワクチン接種券の一律送付の停止を求める署名約5000筆が、厚労省に提出された上写真。子供への接種に反対する医師で、みやざわクリニック院長の宮澤大輔氏もその一人だ。

「今回の子供への接種は『努力義務なし・接種勧奨あり』だが、通常は努力義務と接種勧奨はセット。10年の新型インフルエンザワクチンも今回同様だったものの、接種券の一律送付はせず、接種希望者の申請制だった。そもそも厚労省は、オミクロン株への予防効果に5〜11歳の世代ではエビデンスがないことを認めている。『接種あり』の姿勢なのは問題です」

接種を押し進めたい厚労省の思惑は、広報パンフレットにも見て取れると、宮澤氏は指摘する。「ミスリードを狙ったような記述がいくつもあつた。もともと悪質なものは、『発症予防効果は90・7%』という文言(下写真)で、『※』オミクロン株が出現する前のデータです」と小さな注釈を入れてい



新型コロナウイルスワクチンの効果

Q.新型コロナウイルスワクチンは、どんな効果がありますか?

A.新型コロナウイルスワクチンを受けると、新型コロナウイルスに感染しても重症化しにくくなります。ワクチンを受けると、体の中で新型コロナウイルスと戦う仕組み(免疫)ができて、ウイルスが体に入ってきた時に、すぐ戦える準備ができますので、新型コロナウイルスの症状が出にくくなります。5-11歳における2回接種後7日以上の発症予防効果は、90.7%と報告されています(※)。

※オミクロン株が出現する前のデータです。 出典:厚生労働省発表資料より

新型コロナウイルスワクチンの安全性

Q.子どもが新型コロナウイルスワクチンを受けた後は、どんな症状が出ますか?

A.注射した部分の痛みが一番多く見られます。ワクチンを受けた後、数日以内に現れる症状は、注射した部分の痛みが一番多く、1回目7.4%、2回目で7.1%でした。注射を受けたすぐ後よりも、受けた日の夜や次の日に痛みを感じる人が多かったです。重くはなれず発熱などは、発症予防効果は90.7%と謳う厚労省のパンフレット。後補発の厚労省も「直接のデータは現時点ではない」と国会答弁しているが……

ワクチンの後遺症で認知症になった高校生も

政治に働きかけて、子供のワクチン接種から「努力義務」を外すことに尽力した長尾クリニック院長の長尾和宏氏が続ける。「打たない人の権利は守られるべきだが、ウチのクリニックには毎日のようにワクチンの重篤な後遺症に苦しむ患者が訪れ、その数は現時点で70人にも達している。なかには、半年間も学校に通えていない小学生や、認知症になってしまった高校生もいる。こうした事実を前にすれば、接種券を一律送付するのはおかしい。戦時中の赤紙(召集令状)のように、子供に接種させたくない保護者でさえ、『打たなければいけない』という気持ちに傾いてしまう……」

ただ、多くの自治体が接種券を「一律送付」するなか、愛知県大府市や茨城県常総市など、接種希望

者のみに送付する自治体も現れている。こうした動きを牽引した大阪府泉大津市の南出賢一市長は、国への懸念を隠さない。「接種後に心筋炎の疑いがある10代、20代の男性が非常に増えているが、厚生科学審議会の資料ではこれらの報告の項目がなくなった。情報公開されなくなったことで、国に不信感を抱いています。行政の役割は、ベネフィットだけでなく、リスクについてもきちんと説明すること。泉大津市では接種券の一律送付は行わないが、希望者は接種できることを周知し、接種に際しては周りに流されずに極めて慎重に判断していただきたいと考えています。とはいえ、子供への接種には合理性がまったくない見だせない……。慎重な姿勢をとった当市には、多くの賛同や激励の声が寄せられています」

一方、2月28日に接種を開始した東京都墨田区の広報担当者は、「医療機関で保護者が打つか、打たないか検討することもできます。接種券の一律送付を改める予定はありません」と、対照的な回答。「接種券の送付自体が心理的な圧力」という接種反対派の医師の主張は、考慮されていないようだ。

接種券の「一律送付」をやめた医師もいる。1月25日、沖縄県と県内全市町村に子供への接種の停止を求める要望書と約4800筆の署名を提出した「沖縄…子どもたちへのワクチン接種を止める会」の代表で、医師の筒井子氏だ。

子どもへのワクチンに関する情報を持っていない母親がほとんどで、実際、何人からも「接種しないうちやいけないうちです」と聞かれました。ただ、私たちが地域の母親たちと役所に働きかけた北中城村は、接種希望調査を行ったうえで希望者のみに接種券を送っています。ここへきて医師から反対の声が上がっているのは、医療従事者が先行してワクチン接種して、自身が重い副作用を経験したり、身近な死亡事例があったから。実際、私の周囲の医療関係者の多くは自分の子供はもちろんです、ほかの子供への接種を望んでいません。ところが、職場でワクチンについて率直に話すことができなくなり、病院を辞めました。未来を担う子供の命に関わるのに、放っておくわけにはいきませんからね」

是非が分かれるなか、3月半ばから子供の接種が本格化する。



健康な子どもへの接種に合理性を見出せない3つの理由

泉大津市長 南出賢一 令和4年2月26日

泉大津市長は、3つの理由として「効果のエビデンスがない」「健康な子供の重症化は極めて稀」「副反応リスクが高い」を挙げた

「効果のエビデンスがない」健康な子供の重症化は極めて稀」「副反応リスクが高い」を挙げた

「効果のエビデンスがない」健康な子供の重症化は極めて稀」「副反応リスクが高い」を挙げた

子供のワクチン接種まで1か月余りとなった1月19日、日本を代表する2つの小児科医の団体が見解を発表した。日本小児科学会は「5〜11歳の健康な子どもへのワクチン接種は12歳以上の健康な子どもへのワクチン接種と同様に意義がある」と推奨の姿勢。これに対して、日本小児科医会は「そもそも重症化する人が稀な小児科の新型コロナウイルス感染症においてのワクチン接種の意義は成人・高齢者への接種と同等ではないといえる」と抑制的で、両団体の見解は分かれたように映る。

「基本的には接種したほうがいい」と断つたうえで、こう続けた。「ただし、闇雲に打てばいいというわけではない。オミクロン株は喉の上気道で感染するので、肺炎になることはまずない。ただ、子供の気道にウイルスが付着すると、むくんで呼吸が苦しくなるグループ症候群を発生してしまふ。通常の風邪なら吸入で喉の痛みをとるが、むせてしまつてウイルスを飛散させるので、治療ができないのです。通常の治療ができず、コロナ治療薬がない今、重症化を防ぐにはワクチンしかない。ただ、厚労省の担当者に集まらないほうがいいと進言したが、どんな子供にも一律に接種を急ぐのではなく、慎重を期すべきです」

2大小児科医団体は接種推奨派? 慎重派?

両団体の見解の違いについては、こう明かした。「日本小児科学会の会員の多くは大病院の医師が占めており、基礎疾患のある子供たちを普段から診ているので、そんな子供を守るには現段階ではワクチンしか術がない。一方、日本小児科医会の会員の大半は私のような開業医で、ほとんどワクチンを打ちましよう」というより、重症化リスクの高い子供から接種すべきと考えています」

だが、厚労省はスピードと効率優先の大規模接種会場を設け、集団接種を推進する構えだ。「子供への接種は本人、保護者にきちんと説明し、同意を得たうえで丁寧に行うべき。我々がワクチン打つときは、医師と看護師の最低2人は常に子供についています。だが、効率重視の大規模接種会場では、集団接種を行えば、丁寧な対応は難しい。小児科医が少ない地域では個別接種で対応できず、大規模接種の必要性は理解しますが、人員を割き、時間をかけるなどの手当てを講じるべきです」

子供のワクチン接種を推奨する立場でも、厚労省の拙速な対応には疑問符を突きつけている。

日本小児科医会理事 峯真氏

日本小児科医会公衆衛生委員会担当理事、日本小児科学会専門医、埼玉県で100年以上の歴史を持つ小児科の院長を務める



川瀬もえ

年収300万円に学ぶ
貯蓄術 「節約して貯める」を
仕組み化せよ

お金の悩みを一挙に解決

SPA!

315 週刊SPA! 2022 470円

ロングインタビュー 木村昴

全国の医師から「NO!」の声が続々
子供のワクチン接種「是非論争」



桜井木穂

「震災から11年」
被災地で生きる

気仙沼の名物女将が語る



得する確定申告を大公開
副業会社員の節税

佐久間由衣

中国が狙う
ゆるキャラ覇権

たった5時間で出版可能!
「Kindle出版」
で稼ぐ

お金の新基準

手取り金額激減
銀行預金貧乏
アベノミクス投資
etc.

金持ち／貧乏父さんの境界線は、運用の差にあった